

結果の要約

1 職業

島根県の15歳以上就業者数(368,957人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が105,394人(15歳以上就業者数の28.6%)と最も多く、次いで「事務従事者」が65,294人(同17.7%)、「専門的・技術的職業従事者」が49,012人(同13.3%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,573人(17.3%)増、「保安職業従事者」が234人(4.0%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が2,245人(20.2%)減、「運輸・通信従事者」が1,506人(11.0%)減、「生産工程・労務作業」が13,024人(11.0%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が33.4%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.9%、「販売・サービス関係職業」が24.1%、「農林漁業関係職業」が10.1%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ2.2ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ2.0ポイント、0.5ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.5時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が45.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.1時間、「管理的職業従事者」が43.7時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.5時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.0時間減、「販売従事者」及び「運輸・通信従事者」が1.6時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が98,071組(夫婦数189,874組の51.7%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が43,659組(同23.0%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が9,967組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.2%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が9,364組(同9.5%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は70,276世帯(住宅に住む一般世帯254,888世帯の27.6%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は184,612世帯(同72.4%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が84,294世帯(同33.1%)、「女性のみ」の世帯が23,690世帯(同9.3%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が15,237世帯(同6.0%)となっている。

図1 島根県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

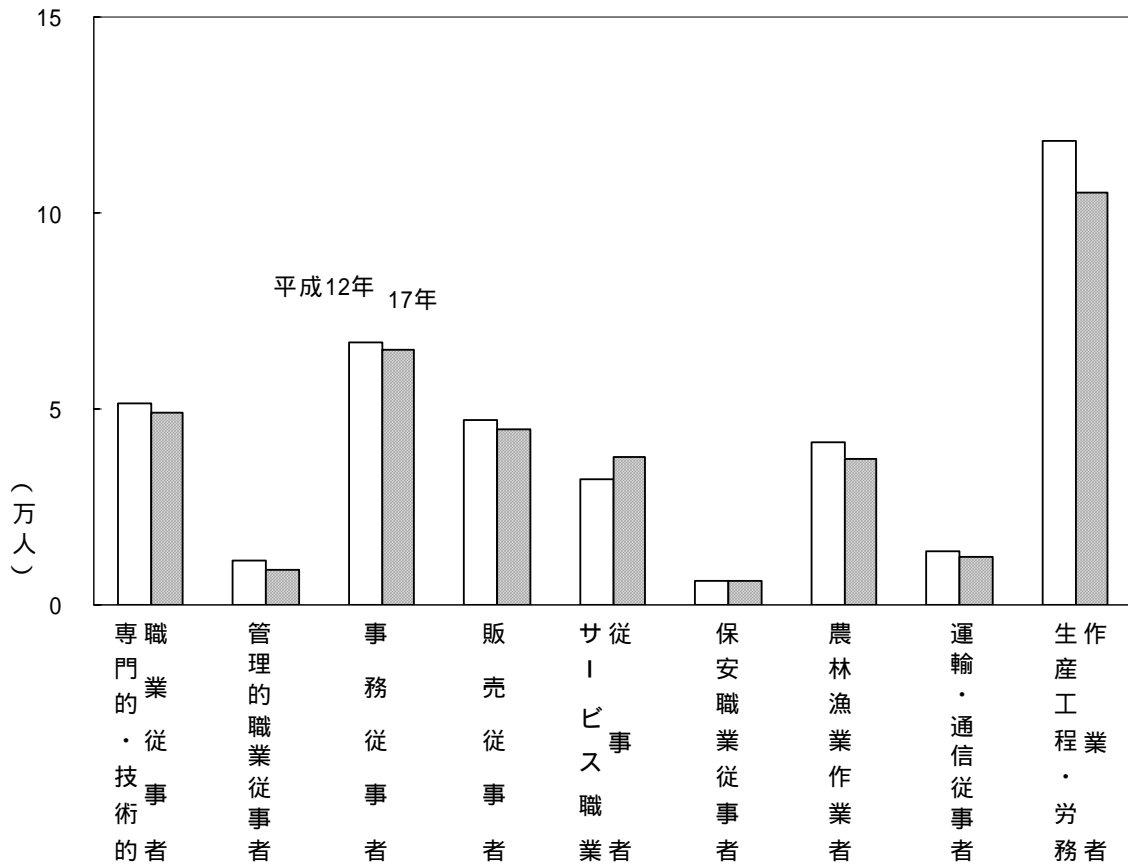


図2 島根県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

